

## 会告 夢と意思と縁を大切に

9月25日にホテルサンルート佐世保で行いました。佐世保ユニバーサル委員会による「明日の佐世保を考える」というテーマでデイスカッションをしました。パネリストに直江精嗣さん、中村聰文さん、松尾慶一さんに登壇していただき、司会を山田繁生が務めました。

直江さんは佐世保にまつわる様々な数字を駆使して、佐世保の置かれている現状を客観的に示してくれました。九州の経済力がベルギーに次ぐ大きさであるとの説明には驚きま

した。佐世保にはいいものがたくさんある、ひとりひとりがその素晴らしい佐世保を見直し、再発見していくとの提案は説得的でした。中村さんは長く商店街とかかわって来た経験からの話を披露しました。特に四ヶ町に関するエピソードは興味深く、荒削りながら活気ある昔の佐世保の街並みが想像できました。受け身からの脱却が活性化への鍵との指摘でした。

松尾さんは「佐世保未来創造フォーラム」についての取り組みを紹介しました。地場産品のブランド化をいかに図るかなどの知恵を教えてもらいました。古民家再生に力を入れていて外国人の活躍を例に引きながら、「なんでもない良さ」というのが大事なんだとの主張は大変に意義深いものだったと思います。この議論が今後の佐世保を考えていく上で何らかの参考になればユニバーサル委員会としては望外の喜びです。また、出演をご快諾いただいたパネリストのみなさま、本当にありがとうございました。



「地方の経営課題とその打開策について考える」

### 次回例会は...

## 「地方の経営課題とその打開策について考える」

地方における中小企業を取り巻く状況は依然厳しい状況となっております。自治体施策による支援策は様々なもの、最終的には経営者の責任において、時代の流れに沿いながらその時にあった経営をしなければなりません。

このような状況の中、11月の例会では、経営計画の策定や、障害のある方の雇用を切り口に、新しい経営像を模索しながら様々な取り組みを行っている経営者を招き、地方の経営課題とその打開策について考える時間としたいと思います。

地方の経営課題といえは、これから少子高齢社会を迎えるにあたり、「人材不足」は喫緊の課題となるのではないのでしょうか？また、若年層

識する事、これが出来ないという絵に描いた餅だと言われそう

### 神崎副会長'S VOICE

今年の目標、皆さん頑張られていますか？  
私は元気に話して笑う目標、これは無意識に出来ているようです。(神崎さんの地じやないですかと言われそうです)

他は「食べ過ぎない事」「週末に5kmウォーキングする事」「1kg超のクロを釣り上げる事」「毎日の頭皮ブラッシング」でしたが、無意識だと全然ダメです。

年初の目標を今からでも「意識して頑張ろうか」と思っています。さらには来年の餅は何を描くかをテーマに、頭皮ブラッシングをしつつ頭の中を働かせたいと思います。



「週末に5kmウォーキングする事」「1kg超のクロを釣り上げる事」「毎日の頭皮ブラッシング」でしたが、無意識だと全然ダメです。

年初の目標を今からでも「意識して頑張ろうか」と思っています。さらには来年の餅は何を描くかをテーマに、頭皮ブラッシングをしつつ頭の中を働かせたいと思います。

## 委員会報告

### ◆総務親睦委員会

日時 10月10日(金)  
場所 魚民

委員会会員13名及び牟田会長、本田福盛さん、野口隆博さんを加え16名で開催されました。

1. 10月例会について  
会場、タイムスケジュール、会費などが委員長より発表され、司会、乾杯、締め

2. クリスマス家族会について  
会場、開催日時が発表され、参加費の協議を行いました。

3. 本田福盛講師による経営セミナーについて  
11月より実施することとしました。

4. 新連絡網について  
委員長より新連絡網の提示がなされ、満場一致で承認しました。

最後に次回委員会日程を決めて会議を終

了しました。

### ◆佐世保ユニバーサル委員会

日時 10月4日(土)  
場所 海田副会長宅

9月の担当例会終了の報告を兼ねた10月の委員会は、海田副会長の計らいで自宅を開放してもらいパーベキューを楽しみました。海田さんの熟練の技で焼き上げた食材はどれもおいしかったので、奥さまによるプロ顔負けの料理もすばらしい逸品でした。親睦あふれる夜を過ごすことができてユニバーサル委員会の前途は明るいと思われました。

### ◆福祉とグルメの委員会

日時 10月10日(金)  
場所 西部ガス

第4回福祉とグルメの委員会は「秋イカを食す！」と題して西部ガス2F調理体験室をお借りして開催しました。(参加委員8名、委員外3名、計11名)



まずは西部ガスの調理体験室の立派さにびっくり。とにかく設備が整っており、非常に動きやすい会場でした。

事前にコミュニケーションをとり、原田の三人が責任を持つという事で、3チームに班分けをし、更に班

長年、ハーレーのスポスタに乗っていたがマフラーからの爆音に嫌気がさしたのと、折しもの車検切れてしばらく降りることになった。通勤用に小型バイクを探していたらホンダのクロスアップ110を店頭で見かけて購入した。当初は通勤だけの利用と思っていたが、これでツーリングに行ったらどうなるだろうと考え始めた。片道200キロくらいなら大丈夫だろうと目算を決め、リアキャリアにテントやシュラフなどを積み込み熊本の阿蘇へ向かった。朝9時に佐世保を出発し、嬉野、柳川、山鹿、菊池を通り阿蘇外輪山を目指す。高速道路は使えないため、一般道をひたすら走る。目的地である阿蘇の「天空の道」については16時ごろだった。薄曇りの中で見るとその景観は、幻想的でまさに天空の城アヒュタを思わせた。雨の中キャンプ地に急ぐ。しかし、野営は無理と判断。近くの温泉施設に投宿した。カブツーリングの最大の魅力は、大型バイクと違って気軽に細道には入っていける。また駐車も気負わずできる点にある。次は片道300キロの旅(霧島辺り)に挑戦したい。



## バイク 俺の一人旅 藤原真治

長年、ハーレーのスポスタに乗っていたがマフラーからの爆音に嫌気がさしたのと、折しもの車検切れてしばらく降りることになった。通勤用に小型バイクを探していたらホンダのクロスアップ110を店頭で見かけて購入した。当初は通勤だけの利用と思っていたが、これでツーリングに行ったらどうなるだろうと考え始めた。片道200キロくらいなら大丈夫だろうと目算を決め、リアキャリアにテントやシュラフなどを積み込み熊本の阿蘇へ向かった。朝9時に佐世保を出発し、嬉野、柳川、山鹿、菊池を通り阿蘇外輪山を目指す。高速道路は使えないため、一般道をひたすら走る。目的地である阿蘇の「天空の道」については16時ごろだった。薄曇りの中で見るとその景観は、幻想的でまさに天空の城アヒュタを思わせた。雨の中キャンプ地に急ぐ。しかし、野営は無理と判断。近くの温泉施設に投宿した。カブツーリングの最大の魅力は、大型バイクと違って気軽に細道には入っていける。また駐車も気負わずできる点にある。次は片道300キロの旅(霧島辺り)に挑戦したい。



## 関戸会員、長崎新聞「とつとつ」に

関戸さんを長崎新聞「とつとつ」で紹介しました。家族のチームワークで伝統を大切にしているというすが伝わってきます。



「ここは佐世保市柚木町・柚木幼稚園界隈。自然とともに育まれる子どもと畑の花」

柚木小学校の近く「仏石山大念寺」に刻まれた空々とした石柱が立っています。芝生の坂道を50mほど上がり、さらに砂岩の石段を上ると山門があります。大念寺は1871年に説教所として設けられたのが始まりのこと。梵鐘(ぼんしやう)の音色を聞きながら、柚木の街並みを一望します。併設の柚木幼稚園は創立60周年を迎えます。緑に囲まれた園舎は、小鳥のさえずりと園児の元気な声で満ちていました。インコやウサギ、カメ、アヒル、カブトムシ、メダカなどを通して、子どもたちに命の大切さを伝えているそうです。住職で園長の小西好生さんは「おかげさまで」ありがとうございますと感謝の念や敬愛心を表していますと話しました。

柚木小学校の近くにある「関戸産」では、昔ながらの方法を守りながら、米麹(こうじ)や合わせみそ、もろみなどを無添加で手作りしています。3代目の関戸弘武さんを中心に、60年以上の経験を持つ祖母やエピソード、母の恵利さんの3人のチームワークで製造に取り組んでいます。工房には、米を蒸したり大豆を煮たりする釜、釜(わら)で編んだムシロが並んでいました。ムシロの上には、ふんわりと白く輝く花が咲いていました。

## 編集後記

最近お腹が出てきたことを気にはしていたが何も手付かずで放置していたら、体重も過去最高を更新。形から入る私は懸垂、腹筋のマシンと室内用のエアロバイクを購入。妻には内緒で購入したため、仕事から帰ってきた妻は、ソファ等をすべて倉庫に押し込め、トレーニング部屋になっているリビングを見て激怒。2週間程度無視されました。間もなく3ヶ月経過しますが、体重は3キロ程度落ちました。とさなかつたら全て撤去すると妻からいわれているため、必死で頑張ろうと思っていいます。奮起させてくれる妻に感謝です。(良)

感動して興奮する質の私。今日参加した講演会で、具体的目標を掲げて日々努力すれば願いは必ず叶う事を確信した！今夜も私は1年9ヶ月後の自分を想像しワクワクして眠れそうにない。(A)